

第66回全油販連定時総会開催

日時 令和元年10月30日（水）14：30～18：30

場所 ロイヤルパークホテル 有明の間・東雲の間

総会では平成30年度事業・決算報告および令和元年度事業・予算計画が原案通り承認された。総会后、講談師宝井琴梅様が江戸時代中期の儒学者・思想家・文学者である菰生徂徠にまつわる一席「徂徠豆腐の由来」を披露した。

引き続き、農林水産省食料産業局食品製造課 東野昭浩課長による「食品製造業における労働力不足克服ビジョン」について講話が行なわれた。食品製造業における労働力需給の現状と課題、機械化の現状と課題、食品機械製造業の現状と課題、開発・製造における「自前主義」の弊害、製造現場で起こる世代間の葛藤・摩擦等について詳細に説明がされた。「従業員のやる気を育て、IT・機械の導入による生産性の向上を図ることまた、今後は女性・高齢者・外国人等、多様な人材の活用促進が必要」と説明があった。



講談師 宝井琴梅



農水省・東野課長の講話

その後、来賓、賛助会員、会員各社をまじえ行なわれた懇親パーティで宇田川会長が「台風15号、19号、先週の集中豪雨によりお亡くなりになられた方々が一日でも早く復興・復旧されるよう祈念申し上げたい。私事であるが、ここ最近の週末に被災地に出かけ被災した状態を見たが、復興・復旧まではかなり時間を要すると感じるエリアがあり、水害の怖さを改めて痛感した。とくに長野県では製油業界に関係する施設が被災されたということで、何かと話題になっている。

昨日（日清オイリオグループ(株)と(株)J-オイルミルズの）業務提携に関する協議開始のニュースがリリースされた。また、昨日は東京中央区にある(株)J-オイルミルズ様の「おいしさデザイン工房」を会場に、中堅若手社員ををを対象とする食用油脂に関する勉強会「第5回油脂未来セミナー」を開催した。今期はあと2回の油脂未来セミナーを実施するが、油問屋として油脂に関するさまざまな知識を高め、油の価値向上に努めていきたい」と挨拶をした。

引き続き、農林水産省食料産業局食品製造課 東野昭浩課長より「いま、お話があったように昨日、油脂業界の大きなニュースが飛び込んできた。国内生産がまだ順調に伸びている段階で、将来を見据えて大きな決断をされたということで、これが今後の生産性向上の強化、油脂の安定供給に貢献されることを期待している」と業務提携開始について所感を述べた。また、東京

五輪開催時の配送問題について「東京五輪開催中の都内の交通をどのようにマネジメントするか、五輪組織委員会、東京都と議論を行っている。主に2つの手段で渋滞を起こさずに切り抜けようとしている。1つは交通需要マネジメントで、業界の皆さんに協力してもらい、配送の頻度を下げる、あるいは配送の時間をシフトしてもらうことで、休日並みの交通量に抑えることを目指す。メーカー、卸、小売それぞれで行なえることは限られているので、先週にはメーカー、卸、小売の各団体が集まり、川上から川下まで団結して何ができるかを議論する第1回目の会合を開催した。もう1つの手法は交通システムマネジメントというもので、首都高の入口を状況に合わせて閉鎖し、強制的に都心での車の流入を止めてしまうもので、この2つを組み合わせ、大会がスムーズに運営できることを考えている。油脂業界の皆さんにもご協力いただきたい」と来賓挨拶をいただいた。

さらに、一般社団法人日本植物油協会の八馬史尚会長（㈱J・オイルミルズ社長）より「台風15号、19号、21号によってお亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに被災された方にお見舞い申し上げます。度重なる台風の影響を受けて、植物油の搾油にとっても少なからず影響があり、こうした状況の時こそ業界が一丸となって乗り越えていく必要がある。それぞれの会員企業においても、真摯な取り組みが求められていると理解している。今回の台風を通じて、改めて環境・気象の変化が非常に大きな課題だということに再認識した。日本植物油協会としても、2030年に向けた目標を設定して取り組みを始めているところだが、今まで以上に取り組みを進め、サプライチェーン全体で取り組む必要があるものと強く感じている。早いもので令和元年も残すところ2ヶ月となった。今月は「即位礼正殿の儀」もあり、日本の歴史と伝統というものを改めて誇りに思い、歴史と伝統を守っていくことの重要性を感じた月でもあった。ただ、一方では今後の少子化、あるいは人口減という影響に対して、これまでと同じ発想での事業展開では、状況が難しくなるものと思われる。業界として、これからの時代は守っていくものと変えていくものを明確にしながら、これでの発想にとらわれない取り組みが必要だと考えている。今後とも全油販連の皆さまとは一致団結して業界の発展に努めていきたい」と来賓挨拶をいただいた。

懇親パーティは、木村副会長の乾杯の挨拶で和やかに進行し歓談後、太田副会長の油締めで散会した。



宇田川会長の挨拶



農水省 東野課長の挨拶



日油協 八馬会長の挨拶



木村副会長の乾杯挨拶



太田副会長の油締め

(写真提供 油脂特報社)